

平成25年度 南魚沼郡市社会科部 活動報告

部長 日岡 求

- 1 研究主題 「児童の意欲的な取組を促す支援のあり方」
～南魚沼の地域素材を生かした授業づくり～

2 研究の概要

地域素材の有効な活用は、児童の意欲を高める重要な手立てである。豊かな自然と歴史遺跡、伝統産業等、南魚沼地域は地域素材が豊富である。この素材を生かし、児童の学習意欲を高める教材にするためには、素材を吟味する弛まぬ努力と児童の立場で考えられた問題解決的な学習過程の工夫が求められる。これらのことを踏まえながら、自ら学ぶ楽しさと、身近な社会事象を捉え考える力を育てていきたい。そこで、地域巡検と地域素材を取り上げた授業研究の2つを柱に研究を行った。

3 研究の実際

5月 2日 (木) 小学校社会科部総会 ○ 組織、研究主題、研究の概要等の検討

6月25日 (火) 推進委員会 ○ 地域巡検計画立案、準備

8月21日 (水) 地域巡検

○ 湯沢地区「関越自動車道…管理道路から関越トンネルを探る」

○ 湯沢の地形…講義と現地視察 講師：新潟大学名誉教授 鈴木郁夫様



関越トンネルの概要の説明を受け、関越トンネル脇の避難トンネル内部に入り、空気循環や送電システム等の見学を行い、トンネル内の安全管理について研修した。午後からは、鈴木先生から、南魚に走っている断層等についての講義を受け、大源太や岩原スキー場から飯土山方面に出かけ、地形の成り立ちについて具体的な説明を受けた。

10月10日 (木) 推進委員会 ○ 4年授業案の事前検討

11月 5日 (火) 授業研究会

○ 4学年 昔から今へと続く町づくり 「コシヒカリが生活を変えた！」

授業者 中野 時啓教諭 指導者 六日町小学校長 関谷 利良様



実践の概要

「魚沼産コシヒカリの誕生に尽くした先人の苦労や工夫、魚沼産コシヒカリが誕生したことによって人々の生活がどのように変化したのかを理解するとともに、郷土塩沢に対するほこりと愛情を深める。」という単元の目標達成に向け、『児童の意欲的な取組を促す支援の在り方』を中心に研修を深めた。

御指導

指導者の関谷校長先生から『創る喜び、学ぶ喜びを育む社会科の授業づくり』という視点から、具体的なご指導をいただいた。

4 成果と課題

地域素材を教材化し、単元構成することは「資料収集の困難さ・教科書内容との関わり・総合的な学習の時間との差違や関連」等で難しさもあるが、子どもの食いつきや意欲が違う。学習内容が発展し、進化拡充していく喜びや楽しさも味わえる醍醐味がある。これまで小学校社会科部では、「巡検」と「地域素材を活かした授業研究会」を柱に研修を重ねてきた。ところが、湯沢町の小学校統廃合による学校数の減少に伴い研究内容を見直す時期にでもある。

しかし、積極的に地域素材を研究し、教材として残し伝える取組を今後も継続していきたい。